



あさがおぐみだより

尚徳福祉会日野保育園 2021年2月

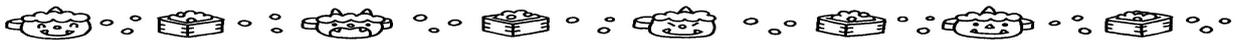


寒さが厳しい2月ですが、早くも春の足音が聞こえています。「光の春」という言葉があります。ロシア語が由来で、徐々に日が長く、空が明るくなっていく2月という意味合いがあるそうです。先日のお散歩中に子どもたちは、「わあ、いいにおいがする！」と歓声を上げて、公園のウメやスイセンの花を見ながら、和やかな表情をしていました。冬から春へと変わっていく変化を楽しみ、明るい陽射しを浴びながら、外でたくさん遊びたいと思います。



鬼は外～♪福は内～♪

鬼は怖いけど、アニメの影響もあって、興味津々な子どもたちです。読み聞かせて特に人気があるのが、絵本「おなかのなかに、おにがいる」です！主人公は保育園の子どもたちで、誰もがお腹の中に色付きの鬼が住んでいるという内容です。その絵本を読んだ後に、鬼のお面作りをしました！好きな色の画用紙を選び、その紙の上に、絵の具に浸したビー玉を転がしました。転がるビー玉の動きを夢中で目で追います。その後は、乾いた画用紙にハサミで顔のパーツを作り、貼っていきました。子どもたちらしさが滲み出た、個性豊かで、優しい表情のオニさんたちが完成しました。【豆まき集会】の前日は、「オニがこわいからほいくえんいきたくない！！」と少し弱気だったお友達もいましたが、当日は先生の後ろに隠れながらも、泣かないで勇敢に鬼に立ち向かっていました。「せんせい！！なかなかたよ、すごいでしょ！！」と誇らしげな顔で、心の中を映すかのように目が輝いていました。



～手洗い指導～

加藤看護師より、手洗いの大切さについてのお話がありました。紙芝居でばい菌の絵が出てくると、清潔にすることが健康に繋がることをわかってきている子どもたちは、顔をゆがめながら見入っていました。二人の保育者が手を洗う、洗わないに分かれ、魔法の水を掛けてもらうと、洗ってない方の保育者の手が黒くなりました。その様子にびっくりしているようでした。実際目にするのがもっとも効果的なようで、その後の手洗いがとても丁寧になっていましたよ。



《箸の持ち方》

鉛筆と同様、子どもたちに正しくもってほしいお箸。意外にも、補助箸で食べることが出来ても、普通箸を持たせてみると、全然出来ないということがあるそうです。練習は普通箸から使うことをお勧めします。ご家庭で持ち方の確認をよろしく願いいたします。

